

○薬剤耐性菌に関するワーキンググループ（第50回）（公開）

日時：令和5年9月27日（水）14：00～17：02

議事概要：

（1）家畜に使用するアミノグリコシド系抗生物質*に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について

審議の結果、

○評価対象アミノグリコシドが、動物用医薬品として牛、豚及び鶏に使用された結果としてハザードである大腸菌又は腸球菌が選択され、牛、豚及び鶏由来の畜産食品を介して人がハザードにばく露され、人用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できない。大腸菌及び腸球菌についてリスクの程度は低度であると考えた。

○薬剤耐性菌については、現時点では詳細な科学的知見や情報が必ずしも十分とはいえ、リスク評価の手法についても最新の知見を踏まえた見直しを随時行うことが重要と考えるため、国際機関における検討状況等を含め新たな科学的知見・情報の収集が必要である。

とすることが了承され、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

* 動物用医薬品として家畜の呼吸器病、細菌性関節炎、細菌性下痢症、乳房炎等の治療薬として使用されています。